

今後の気象見通し

(株式会社応用気象エンジニアリング)

この秋冬(2011年11月~2012年2月)の天気の傾向

2011年 11月 11 日

株式会社 応用気象エンジニアリング

気象予報士 渡邊 道夫

各地域の、この夏(6月~8月)の気温経過(平年との差)

2011年

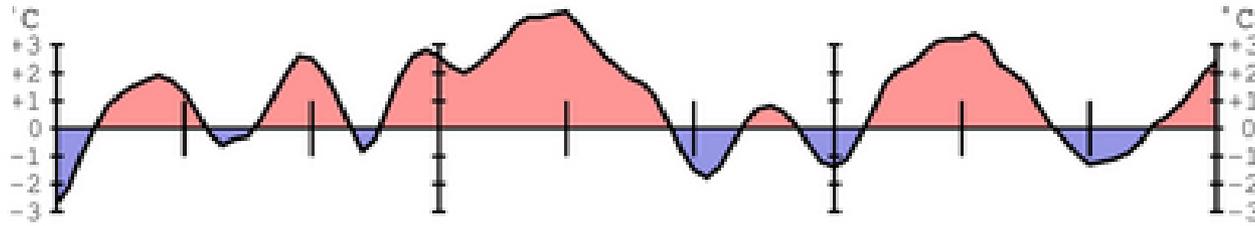
6月

7月

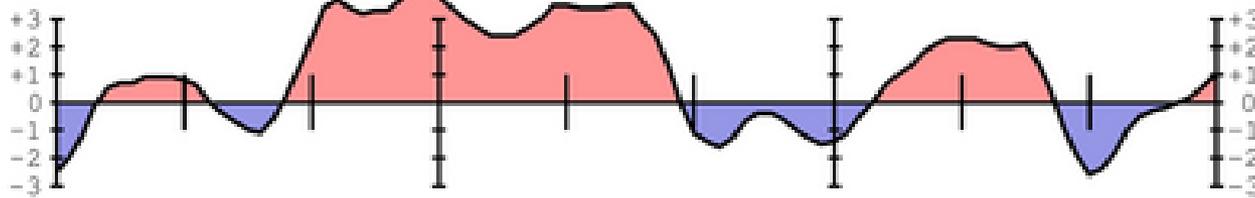
8月

上旬 中旬 下旬 上旬 中旬 下旬 上旬 中旬 下旬

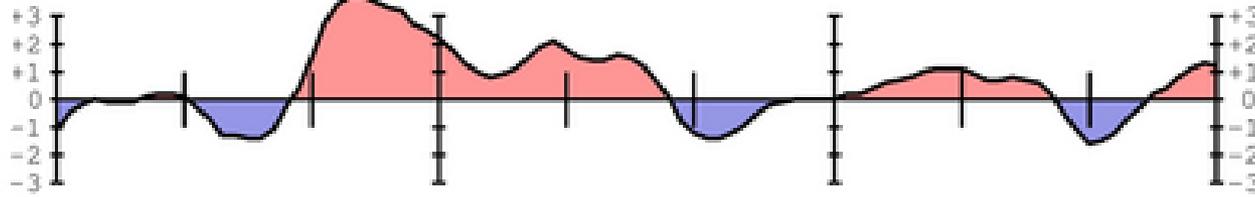
北日本
(北海道・東北)



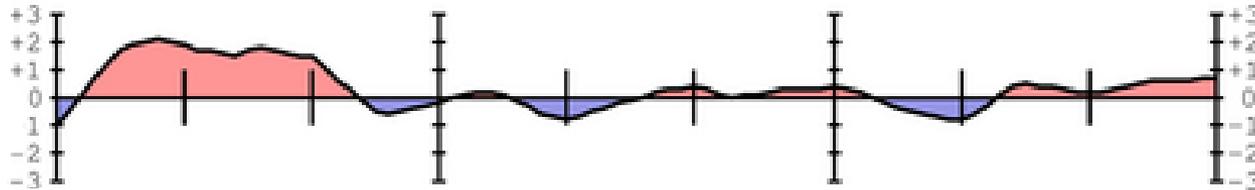
東日本
(関東甲信越・東海・北陸)



西日本
(近畿・中国・四国・九州)

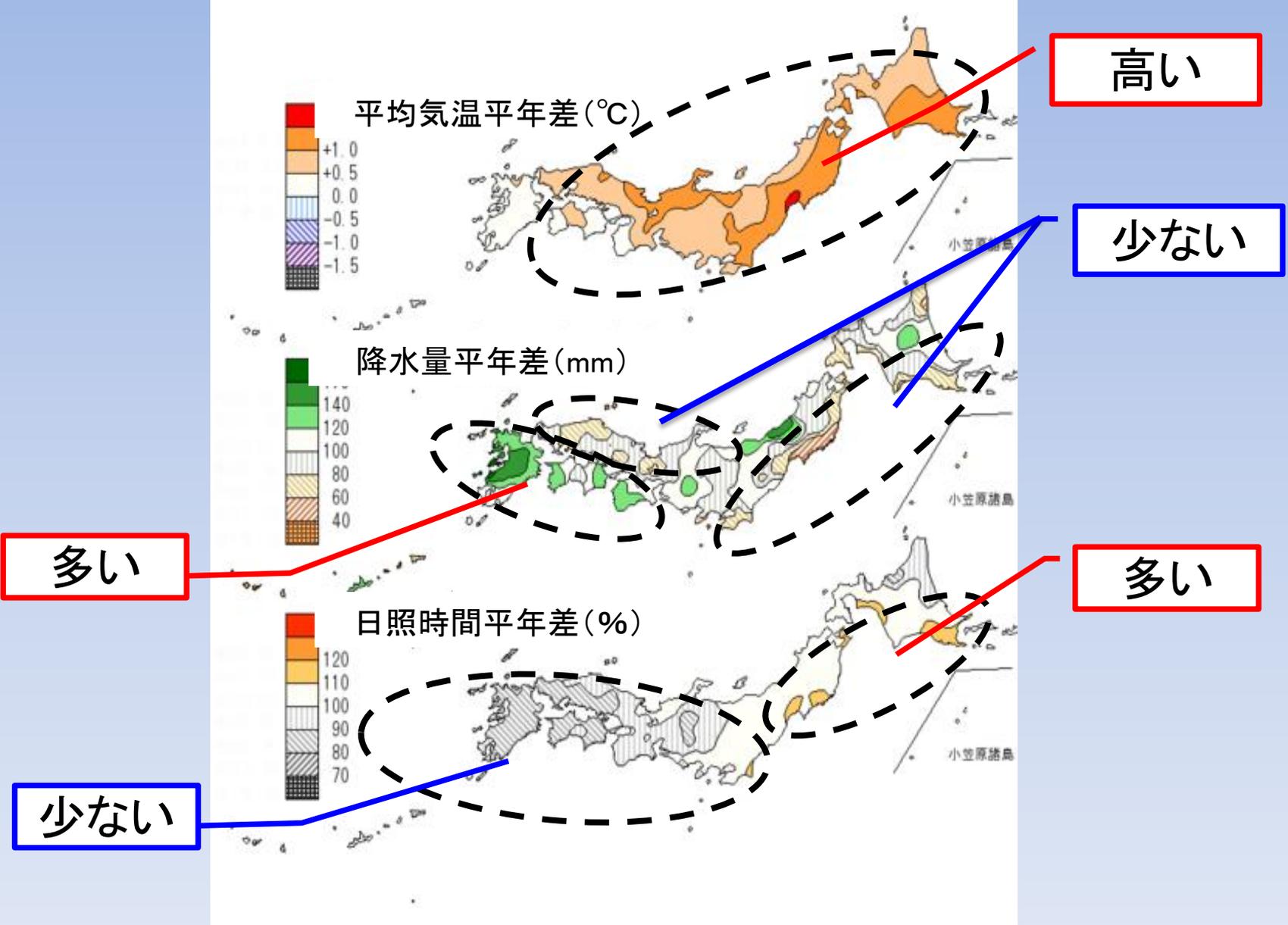


沖縄・奄美



地域平均気温平年差の5日移動平均時系列

各地域の、6~8月の気温・降水量・日照時間(平年との差)



9月～10月の天気の経過

○9月

- ・ 上旬は、動きの遅い台風12号や前線の影響により、北日本から西日本にかけて、曇りや雨の日が続いた。特に紀伊半島では、記録的な大雨となった。
- ・ 中旬は、東日本以西で**厳しい残暑**となった。
- ・ 下旬は、台風15号の影響で、西日本から北日本にかけて、記録的な大雨や暴風となった。また、寒気の影響で全国的に気温が平年を下回る日が多かった。

○10月(速報)

- ・ 上旬は、天気は数日の周期で変化した。強い寒気の影響で、北日本を中心に気温が低くなった。
- ・ 中旬は、天気は周期的に変化した。気温は平年を上回る所が多かった。

秋・冬(11月～2月)の天気の動向

秋・冬(11月～12年2月)の天気の動向

○全般の傾向(10月25日:気象庁発表3か月予報)

- ・ ラニーニャが発生する**可能性がある**。
- ・ 寒気の南下は平年より弱い、又は長続きしない。
(北極振動は、寒気の動向を伝えるシグナルが出ていない。)



11月・・・全国的に、天気は数日の周期で変わり、**気温は平年と比べて高め**。

12月・・・冬型の気圧配置が続かなく、**気温は平年と比べて高め**。

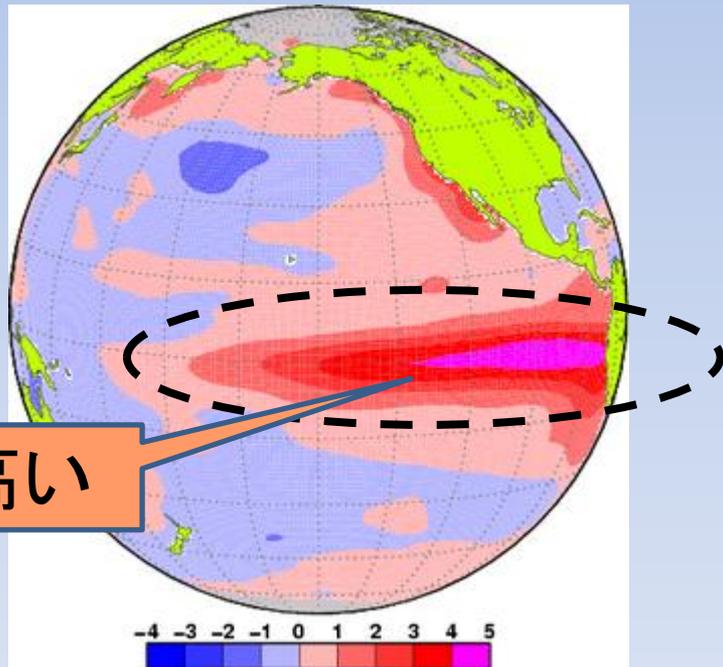
1月・・・冬型の気圧配置が強まり、**気温は低温傾向**。

2月・・・一時、冬型の気圧配置が強まるが、長続きしない。気温は、**平年並みか平年より高め**。

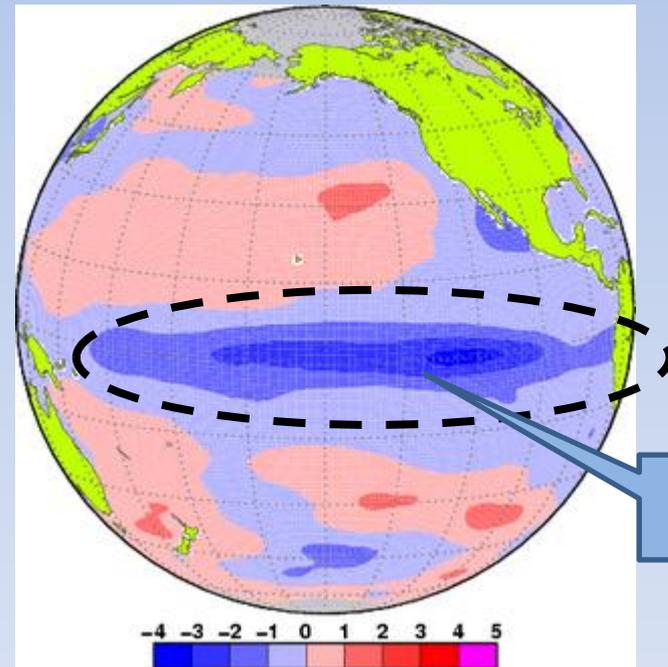
エルニーニョ現象とラニーニャ現象

エルニーニョ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から、南米のペルー沿岸にかけての広い海域で、海面水温が平年に比べて高くなり、その状態が1年程度続く現象。

逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象はラニーニャ現象という。



1997年11月の月平均海面水温平年偏差
エルニーニョ現象



1988年12月の月平均海面水温平年偏差
ラニーニャ現象

ラニーニャ現象と日本の天候

夏



ラニーニャ現象の夏季の天候への影響

冬

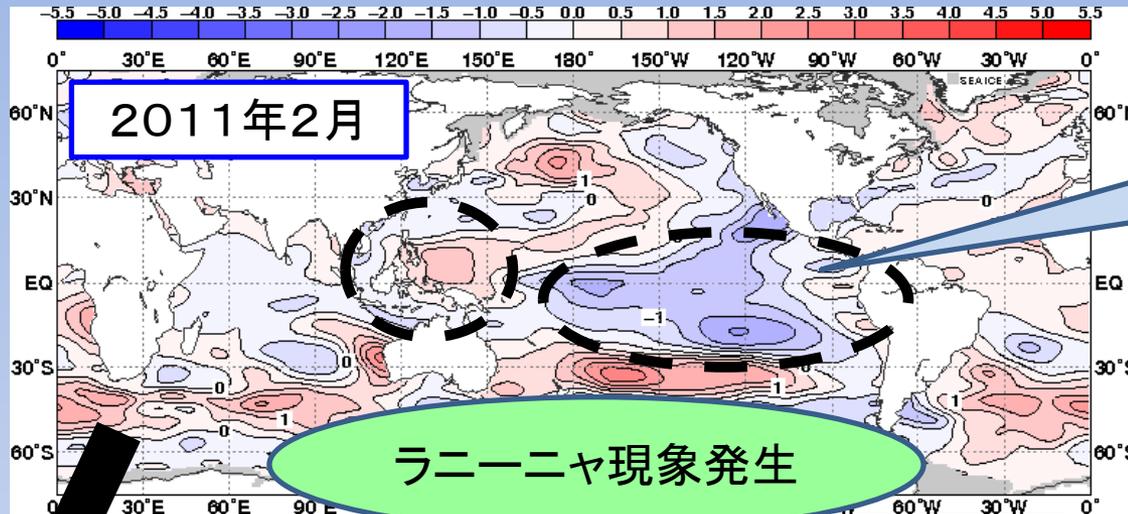


ラニーニャ現象の冬季の天候への影響

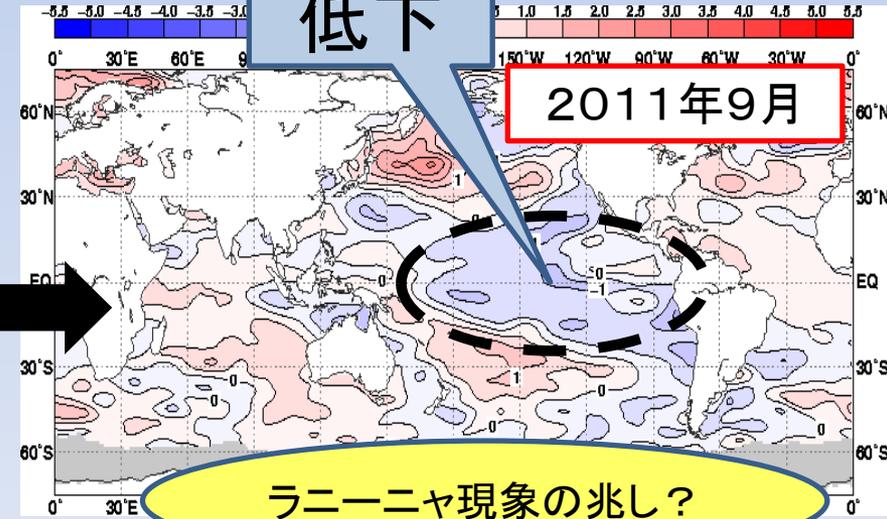
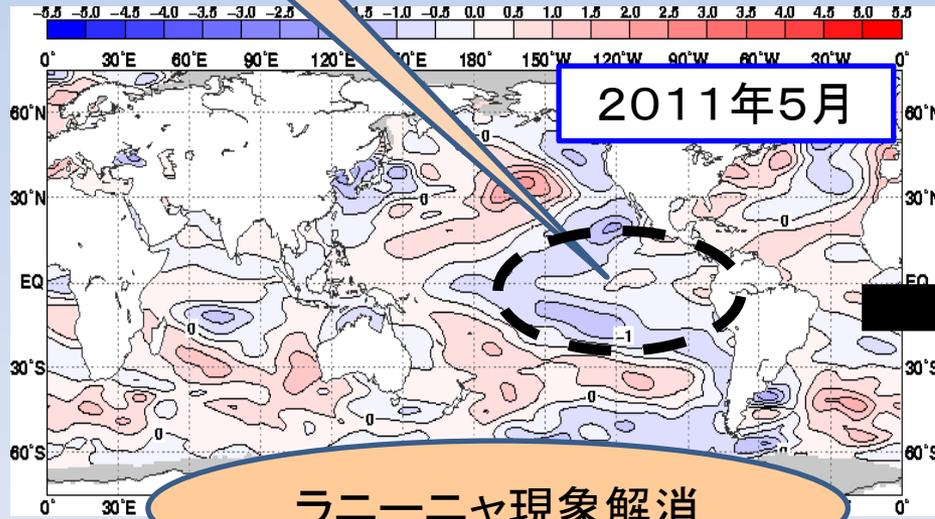
ラニーニャ現象が発生すると、西太平洋熱帯域の海面水温が上昇し、西太平洋熱帯域で積乱雲の活動が活発となる。

日本付近では、西高東低の冬型の気圧配置が強まりやすく、特に北日本や東日本の日本海側で低温、多雪、寡照となる傾向にある。

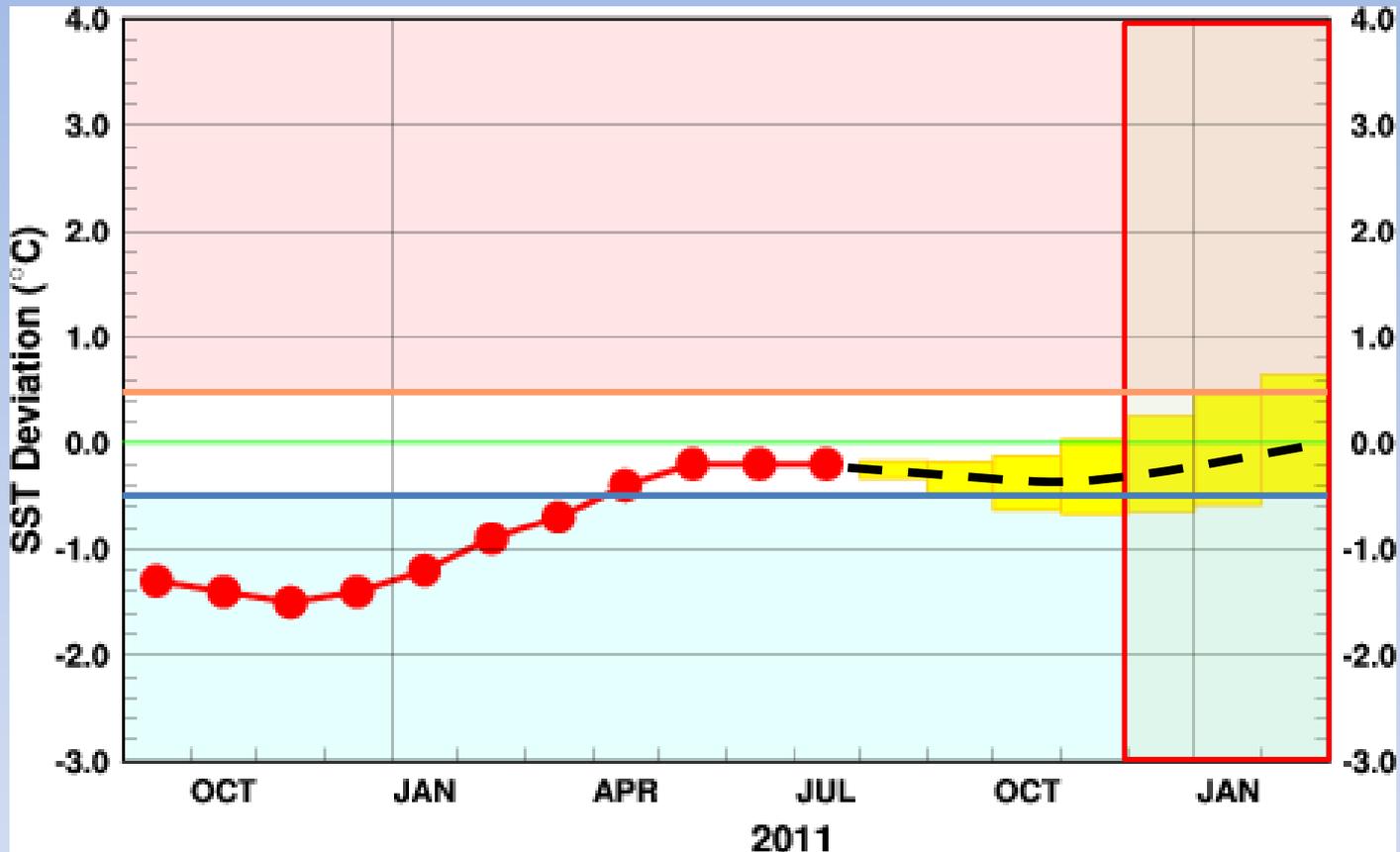
海水温の状況



水温
上昇

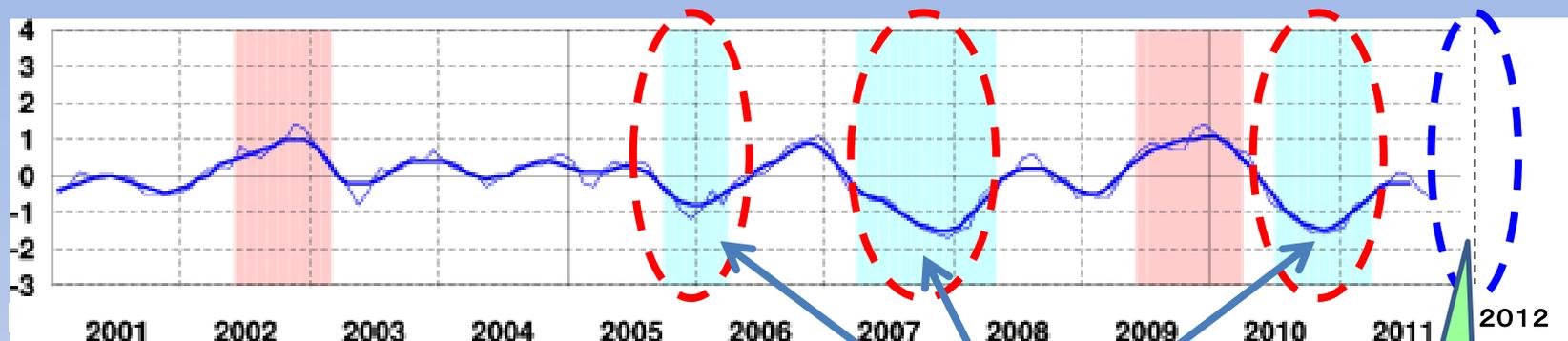


エルニーニョ監視海域の海面水温の予測



エルニーニョ監視海域の海面水温が、秋から冬にかけて基準値に近い値で推移すると予測しているが、予想幅の下限で推移する可能性がある。

エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差



ラニーニャ発生

可能性あり

○ラニーニャ発生年の冬の天気の特徴(過去10年)

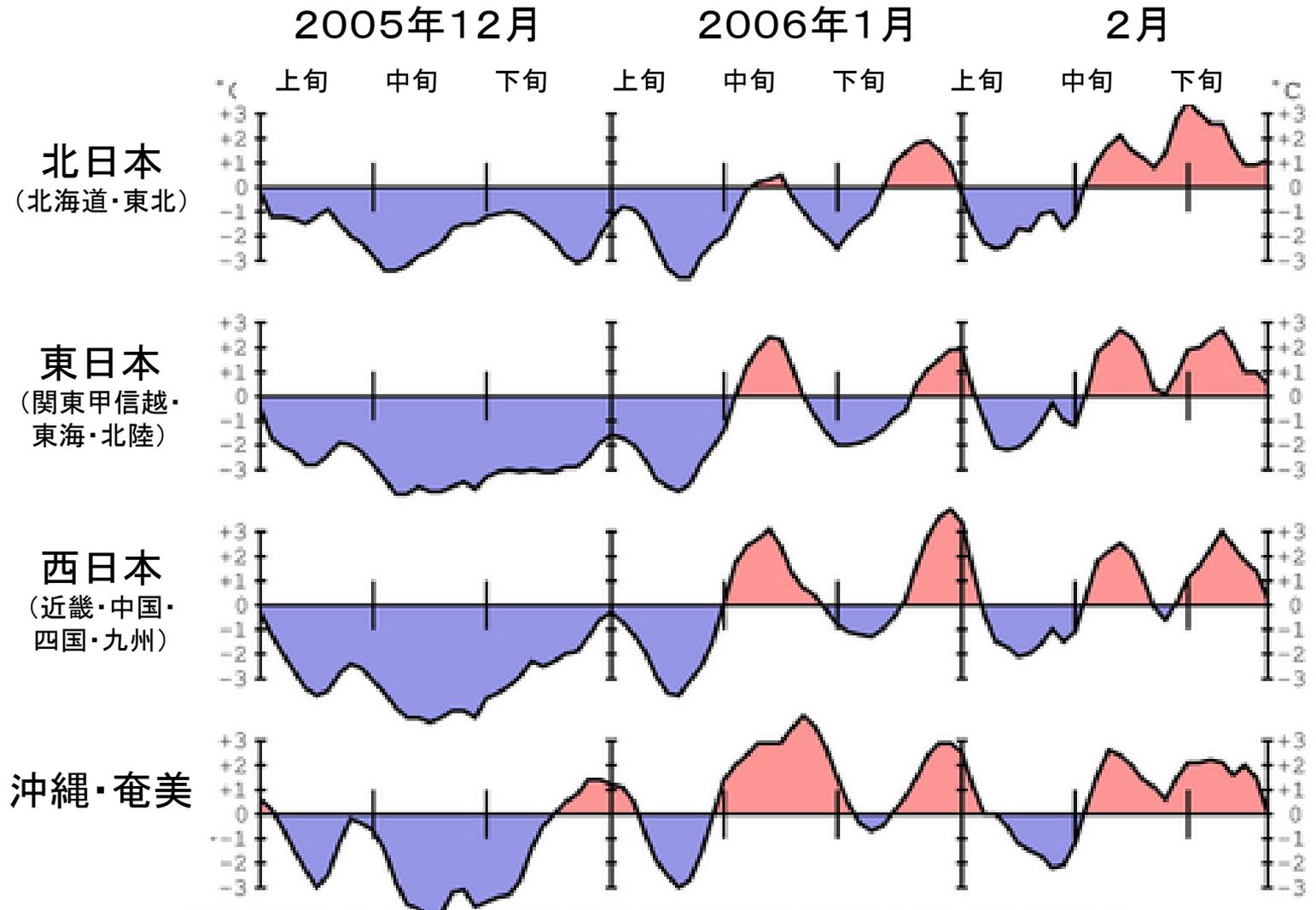
2005年秋～06年春:低温、多雪(平成18年豪雪)

2007年春～08年春:気温は平年並み、少雪(特に日本海側)

2010年夏～11年春:暖冬(ただし、1月は冬型が続き、日本海側で大雪)

共通した特徴・・気温の変動が大きい

「平成18年豪雪」が起きた時の気温経過



地域平均気温平年差の5日移動平均時系列

11月の天気の動向

○天気は数日の周期で変わり、全国的に気温が高くなる。

- ・北日本は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない。
- ・東日本の日本海側は、平年に比べ晴れの日が多い。
- ・東日本の太平洋側と西日本は、平年に比べ曇りや雨の日が多い。
- ・沖縄・奄美は、平年に比べ曇りや雨の日が多い。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	高い	少ない	並みか多い
	太平洋側		並み	並み
東日本	日本海側	高い	並み	並みか多い
	太平洋側		並みか多い	並みか少ない
西日本	日本海側	高い	並みか多い	並みか少ない
	太平洋側			
沖縄・奄美		高い	並みか多い	並みか少ない

12月の天気の動向

○冬型の気圧配置が続かない。

- ・ 北日本や東・西日本の日本海側は、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い。
- ・ 東・西日本の太平洋側は、平年と同様に晴れの日が多い。
- ・ 沖縄や奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多い。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側		並みか多い	並みか少ない
東日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
西日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並み	並み	並み

12年1月の天気の動向

○冬型の気圧配置が強まる。

- ・ 北日本、東・西日本の日本海側は、平年と同様に曇りや雪の日が多い。
- ・ 北日本、東・西日本の太平洋側は、平年と同様晴れる日が多い。
- ・ 沖縄・奄美は平年と比べて、曇りや雨の日が多い。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
東日本	日本海側	並みか低い	並みか多い	並みか少ない
	太平洋側		並みか少ない	並みか多い
西日本	日本海側	並みか低い	並みか多い	並みか少ない
	太平洋側		並みか少ない	並みか多い
沖縄・奄美		並みか低い	並みか少ない	並み

12年2月の天気の動向

- 一時、冬型の気圧配置が強まるが、長続きしない。
 - ・北日本、東日本及び西日本は、数日の周期で天気が変わる。
 - ・気温は、沖縄や奄美を除き、平年並みか平年より高くなる。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
東日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
西日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並みか低い	並みか少ない	並みか少ない

この秋から冬の予報(まとめ)

- ラニーニャ現象発生の可能性あり。
- 日本付近の冬型の気圧配置は、北日本で弱く、東・西日本で強い。日本海側は、寒気の影響を受けやすい。
- 太平洋側は、晴れの日が多いが、北・東日本の太平洋側は、低気圧の影響を受けて、一時大雪になる日もある。



この秋から冬の天気による注意点(一般的な例)

- 気温の変動が大きい場合

注意点・・・まとまった降雪後の気温上昇による融水や
河川・用水路などの増水

- 強い冬型の気圧配置の場合

注意点・・・日本海側の大雪、太平洋側の少雨・乾燥

終わり

※本資料は、気象庁発表資料を基に作成しました。